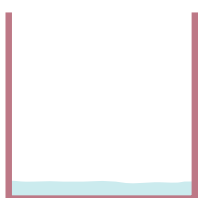
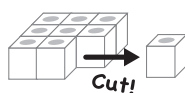
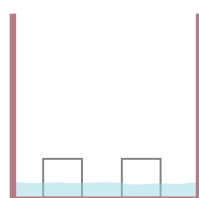
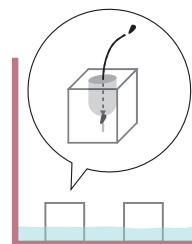
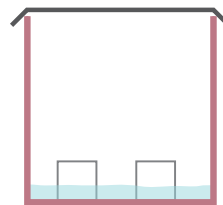
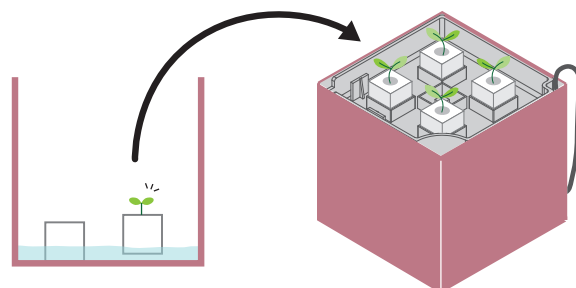
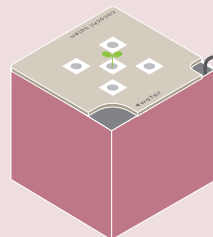
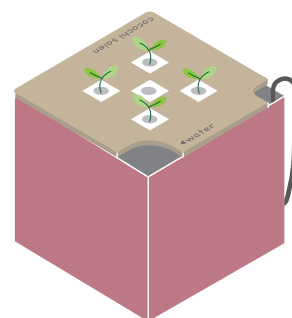
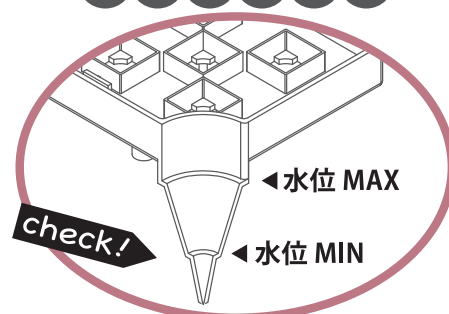
育て方の手引き

育て方

室内で育てる場合は、できるだけ明るいところに置いてあげて下さい。
ハーブや野菜たちは、太陽の光が大好きです。

❶容器に水を約1㎝入れます。

❷切り離した培地スポンジを容器に入れ、空気を抜きながら十分水に浸します。

❸培地スポンジの穴の中の切り込みに、種を2、3粒、かるく差し込みます。

❹容器の中の湿度が安定するように、ラップなど透明なものでふたをします。（水が少なくなったら足して下さい。）

❺芽が出たら組み立てた 栽培槽にセットします。芽が出た苗のうち元気なものをスポンジごとはめ込みます。中央の穴には種を入れていない 培地スポンジをはめ込んで下さい。

❻栽培槽の形に合わせ
ふたを乗せてセット完了。
電源を入れて
水気耕栽培スタート！

トマトなどの実がなる野菜を育てる場合は発芽した元気の良い苗を中央に１つ植えます。
支柱の要らない、背の高くならない矮性品種をお勧めします。
例：レジナ（ミニトマト）

水位が**MIN**まで下がったら、
新たに溶液を作り足して下さい。

栽培セットの組み立て方

1. はじめに2ℓの水を用意して、その中にキャップ８分目の量の液肥A・Bを溶きます。液肥A・Bを直接混ぜると結晶化しますのでご注意下さい。
（作った溶液はペットボトルなどで、直射日光の当たらない涼しい場所で保管して下さい。）
2. ポンプにチューブをつなぎ、チューブの反対側の先を栽培槽のチューブ穴に通し栽培槽から10cmほど出してチューブ固定部二か所に留めます。
3. 栽培槽の四隅の穴に発芽した培地スポンジをはめ込み、中央の穴には種を入れていない培地スポンジをはめ込んで下さい。
4. 栽培槽の形に合わせてふたをのせます。
5. ①で用意した溶液を注水口から水位MAXまで入れます。

液肥 A・B とも キャップ８分目 の量を２ℓの水で溶き、よくかきまぜてから、組み立てた栽培セットの水位 MAX まで溶液を入れます。

※ポンプ使用上の注意

出荷時はポンプの水量を MAX に設定してあります。勢いが強すぎて水があふれるようでしたら、レバーを MIN 方向へ動かし、水量を調節して下さい。